

経営局長賞

農事組合法人いさわ産直センター「あじさい」 ～農家女性を中心とした直売所・加工・食堂の展開～

代表者： 組合長 高橋寿子
所在地： 岩手県

構成員： 生産者68名
活動開始年月日： 平成11年6月

表彰理由

農家女性を中心となって、直売所から始まり、加工施設や食堂の運営、学校給食や旅館への提供など、様々な取組を実現し、地場農産物の販売額の向上、付加価値化などを進め、農村女性の就労と生きがいの場の創出及び所得向上につなげている。

取組内容

1. 農家女性を中心とした直売所・農産加工・食堂等への取組

農家女性を中心となり、直売所、加工施設、食堂を運営。販売額は年々増加しており、約1億円まで増加。地場産品の取扱数は226品目(うち野菜100品目)。

パイプハウスによる野菜生産などにより、冬場の品薄感の解消に取り組むほか、エコファーマーを取得するなど、環境保全型農業にも取り組んでいる。

生産調整により増加した地場産大豆を活用した豆腐やおからドーナツ、地場産の粉を活用したおやきなど、菓子作りに取り組む。総菜は、産直だけでなく、地元スーパーに出荷しているほか、豆腐の加工施設は、地元小学校の体験学習を受け入れ、地域の食育にも貢献。

食事処「あがらんえ」は、地元で生産された農畜産物や加工食品を使い、地域に残る伝統的な料理(すいとんなど)をメニューに取り入れ、「かあちゃんの味」を提供。郷土料理の紹介により、地元の郷土食を伝承。県産食材を使用し、消費者に地産地消をPRする「いわて地産地消レストラン(2つ星)」として認定を受ける。

2. 学校給食への供給

学校給食に対して、平成16年から食材供給を開始し、学校給食センターと連携して、地域食材を利用した給食メニューづくりを実施するほか、食農教育に貢献。

農産物は、年間の栽培計画を立て、多数の品目と量を供給できるよう生産者が役割分担して対応(平成18年度には野菜10品目、山菜ほか5品目を供給)するほか、クレーンや欠品等に対応できるよう、給食担当者を決めて対応。